

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		09 04 11	中期総合計画主要施策番号		2-03	担当課	部・課	農政部・園芸畜産課	
事業名		新乳肉複合経営システム構築事業					内線	3176	
							E-mail	enchiku@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	ホルスタイン種の「雌だけ受精卵」と黒毛和種の受精卵移植を活用することにより、新たな乳肉複合経営システムのモデルを構築する。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]							
		和牛生産を取り入れた酪農経営(乳肉複合経営)が普及していない。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]							
		乳肉複合経営では、ホルスタイン種後継牛(雌牛)の確保と肉用牛の生産を両立する必要があるが、通常の精液による人工授精では雌牛は約半数しか生まれず、和子牛の生産拡大は困難である。							
	[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]								
	「雌だけ精液」による効率的な高能力後継牛の生産と、黒毛和種受精卵の移植による和子牛の生産拡大を図る。								
	事業内容	モデル農場において以下を実施 ・ホルスタイン種の「雌だけ精液」の確保と「雌だけ受精卵」の作出・移植 ・ホルスタイン種を借り腹とした黒毛和種受精卵の移植による和子牛生産の拡大							
	実施期間	H20 ~	根拠法令等	長野県食と農業農村振興計画、農畜産業振興事業補助金交付要綱					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	高能力乳用後継牛と付加価値の高い和子牛を生産する新たな酪農経営システムを構築する。		モデル農場において受精卵採取、移植を実施すること。 ・モデル農場戸数 5戸			5戸のモデル農場において受精卵採取、移植を実施した。 (飼養頭数 約400頭、うち受精卵移植頭数 計 167頭)		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円		1,685	1,516	国庫・県単	県単	
	決 算 額 (B)		千円		1,431		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円		635	527	歳出節別内訳等	・需用費 1,081 (単位: 千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人		1.50	1.50			
	概算人件費 (C)		千円	0	10,724	10,724			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	0	12,155	12,240				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	雌だけ受精卵の採取		頭		50	50	・卵処理にかかる技術者養成講習会 1回 ・ET子牛哺育育成技術研修会 1回		
	雌だけ受精卵の移植		頭		52	100			
	和牛受精卵移植頭数		頭		115	200			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・生産資材の高騰等により効率的な後継牛の生産と付加価値の高い和子牛生産へのニーズは増加している。 ・供卵牛のコンディションや授精時期を検討し、1頭あたりの採卵数を増加させる必要がある。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・ニーズの増加に対し、受精卵移植を推進するため、民間の技術者の育成と地域の受精卵移植体制の整備を図っていく必要がある。						